

## 平成27年度 佐伯市災害対策本部設置運営訓練実施要領

## 1. 訓練目的

「南海トラフの巨大地震」(今後30年以内の発生確率が60～70%)が発生、市内沿岸部に大津波が襲来(山間部においても斜面・道路崩壊)したと想定し、主に災害初動期における体制構築・役割分担の確認、情報処理方法の確認、情報に基づく意思決定及び対策実施、関係機関間の連絡・調整等に係るシュミレーション訓練を行うことで、災害時における迅速かつ適切な対応能力を身につけるとともに、応急対策活動上の問題点・課題について把握する。

## 2. 訓練日時

平成27年11月5日(木)・・・「津波防災の日」 13:00～17:00(予定)

[想定地震]

南海トラフの巨大地震(海溝型地震) 同日12:00頃発生

[訓練内容]

- ・第1回災害対策本部会議(現状及び応急対策事項の確認)
- ・各対策部図上訓練(状況付与事項の整理判断・対処検討)
- ・第2回災害対策本部会議(対処状況の報告、懸案事項の検討)
- ・模擬記者会見

※各対策部活動場所(6階大会議室等)の設営訓練を午前中に実施

## 3. 実施場所

災害対策本部会議・・・庁議室(5階)

各対策部図上訓練・・・大会議室、第1・第2委員会室(6階)

## 4. 訓練方式

ロールプレイング方式

- 訓練を仕掛ける側(コントローラー)と受ける側(プレイヤー)に分かれ、実際の災害に近い状況(演習シナリオ)を作り、プレイヤーに開示せずに状況判断、検討・判断、意思決定、対処行動を机上で行う。また、評価者を数名配置し、訓練内容の評価を行う。

## 5. 訓練参加者

災害対策本部員及び各対策部

災害対策本部員(市長、副市長、教育長、各対策部長等)

各対策部(副部長、各班長、副班長、班員2～3名) 計 約80～90名

## 6. 被害状況及び浸水状況の設定

「大分県地震津波被害想定調査報告書」及び「大分県津波浸水予測調査結果」を参考とする。

[被害想定]		[津波高]		[+1m到達時間]	
津波による死者	8,578名	蒲江丸市尾	13.50m	蒲江丸市尾	26分
建物崩壊による死者	5名	米水津浦代浦	12.76m	米水津浦代浦	28分
避難所生活者数(避難所)	19,098名	米水津色利浦	11.46m	米水津色利浦	28分
避難所生活者数(避難所外)	10,284名	蒲江新町	11.03m	蒲江新町	26分

## 7. その他

訓練中、地域防災計画等の資料の活用、閲覧は自由とする。